

県女第一期生より、皆実高校生に至る  
 115年の歴史に連なる者、  
 また今後、この同じ流れに連なる者、  
 手をつなぎ足音高く歩もう。  
 足音高く声を揃えて元気に歩もう。  
 我等は、皆実有朋会会員（36,846人）である。  
 歩もう、歩もう力強く！



**No. 79** 2016 (平成 28) .12.15



撮影者／濱永映一（皆実 22 期）

生徒を見守り続ける  
**3本の楠**

建物は数十年単位で更新されていくのに対し、木々は数百年も生き続けます。  
 通学路の3本の楠は、旧陸軍被服支廠跡から皆実高校で学んだ同窓生全員の共通の思い出として残っている数少ない風景です。  
 この楠は、少なくとも昭和14年には、旧被服支廠内の神社（皆実神社・伊勢神宮）の社叢の一部であり、当初は旧被服支廠の従業員を見守り、昭和20年8月6日には被爆しています。  
 その後、通学路の木として皆実高校・県立工業高校の生徒の心の中に深く印象に残っています。  
 今後とも長く生徒たちを見守り続けてもらいたいです。

